

## 学会誌「Functional Food Research」投稿規定・執筆要領

### 1. 投稿・査読等について

- ・本学会の会員（一般会員及び賛助会員）は研究成果を総説、原著論文等として、学会誌に投稿することができる。
- ・総説、原著論文等の内容は、本学会の学術集会等で発表されたものを基本とするが、学術集会等で発表されていないものでも、機能性食品に関連する論文の投稿を随時、受け付ける。なお、ランダム化並行群間比較試験結果の報告である場合には CONSORT 2010 声明に準拠する。
- ・原著論文の内容は他誌に発表、あるいは投稿されていないこと。
- ・原著論文のデータが他誌等のオンライン掲載や発表をされていないこと。
- ・原著論文の投稿内容に二重投稿が疑われる場合には、掲載取り消しに同意すること。
- ・臨床試験に関しては、第三者委員会による承認（可能であれば承認番号か承認日を記載）と、インフォームドコンセントを文書で取得したことを必ず記載する。
- ・動物を対象とした論文は、関連するガイドラインに従って実施されたことを必ず記載する。
- ・研究費や試験薬剤の提供など利益相反がある場合には、関係した企業・団体名を本文に明記する。
- ・編集委員が論文の著者に含まれる場合、以下の文章を記載する。  
「（編集委員の名前）は Functional Food Research 誌の編集委員であるが、本論文の査読、掲載の可否の過程に一切関わっていない。」
- ・投稿された論文は、編集委員、その他、外部の専門家によって査読され、掲載の可否が決定される。査読結果は速やかに知らせ、採択後約 1 ヶ月で電子版として学会ホームページに掲載される。
- ・掲載可となった論文については、著者の申し出により掲載証明書を発行する。
- ・論文掲載料については、別途学会が定める金額を請求する。
- ・本誌に掲載された著作物の著作権はファンクショナルフード学会に帰属する。

### 2. 体裁について

- ①タイトル：日本語に加え英語も表記する。
- ②著者名：日本語に加え英語も表記する。所属は肩つき番号で示す。
- ③要旨：和文 1,000 文字以内、英文 250 ワード以内
- ④キーワード：5 個程度
- ⑤所属：正式名称を日本語と英語で記す。
- ⑥連絡先：責任著者のみ、住所とメールアドレスを記す。
- ⑦本文：5,000 字以内（文献含む）を基本とする。これを大きく逸脱した場合には、投稿論文の改変を求めることがある。
- ⑧引用文献と図の説明（Figure legends）は本文とは別のページに記す。図表は 5 点以内を基本とする。
- ⑨引用文献を登場順に肩つき番号で本文、図の説明に付す。

### 3. 原稿の送付について

本文、図表をそれぞれのファイルで保存したもの、さらに、それらを pdf ファイルで統合したものをメールで送付して下さい。

### 4. 用字・用語について

- ①専門用語：わかりやすく表記して下さい。例えば、グルコサミンについては、初出に D-グルコサミン塩酸塩（以下、グルコサミン）とする。
- ②一般用語：常用漢字、現代かなづかいに則る（編集部で統一）。
- ③略語：略語を使う場合は、初出の箇所にフルスペルをカッコ内に付す。  
（例）マトリックスメタロプロテイナーゼ（matrix metalloproteinase, MMP）
- ④外国人名：原語表示
- ⑤年次：西暦（特に元号が必要な場合のみカッコ内に表記）  
（例）2012（平成 24）年
- ⑥用字用語については、統一性をもたせるために編集部にて調整させていただきます。

## 5. 図表について

- ①写真は解像度の高いものを, JPEG ファイル (図中の文字のフォントはゴシック系) で番号を付して送って下さい.
- ②図表とも番号を付し, 本文の挿入箇所にも登場順に番号を入れる. 引用文献があれば表中に番号を付す.

## 6. 文献について

- ①表記の仕方: International Committee of Medical Journal Editors ([http://www.nlm.nih.gov/bsd/uniform\\_requirements.html](http://www.nlm.nih.gov/bsd/uniform_requirements.html)) を参考にして下さい.

雑誌の場合 (著者名は 6 名まで記載する)

- 1) Halpern SD, Ubel PA, Caplan AL. Solid-organ transplantation in HIV-infected patients. *N Engl J Med.* 2002 ; 347 : 284-7.
- 2) Rose ME, Huerbin MB, Melick J, Marion DW, Palmer AM, Schiding JK, et al. Regulation of interstitial excitatory amino acid concentrations after cortical contusion injury. *Brain Res.* 2002 ; 935 : 40-6.

書籍の場合

- 1) Breedlove GK, Schorfheide AM. Adolescent pregnancy. 2nd ed. Wiczorek RR, editor. White Plains(NY): March of Dimes Education Services ; 2001.
- 2) Meltzer PS, Kallioniemi A, Trent JM. Chromosome alterations in human solid tumors. In: Vogelstein B, Kinzler KW, editors. The genetic basis of human cancer. New York : McGraw-Hill ; 2002. p.93-113.

- ②引用文献は, 本文の適用箇所に登場順に肩付番号 1), 2), 3) を付す.

- ③図表の出典・引用も②と同様に肩付番号を付す. 肩付番号は, 本文・図表を合わせて通し番号とする.